

## 第224回ゴム技術シンポジウム

### 高機能ゴム製品を支える新技術・基礎技術Ⅱ

#### ～ゴムと異種材料をつなぐ配合技術！～

主催：日本ゴム協会研究部会 配合技術研究分科会

協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本材料学会、日本接着学会、  
(予定) 日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本レオロジー学会、日本複合材料学会、  
プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会 (順不同)

今回のシンポジウムでは配合技術に関わる新技術について紹介します。また、配合の基礎技術に立ち返り、配合に直接関係する老化防止剤、加工助剤、加硫系の適用例も紹介します。実際の配合検討に参考になるよう著名な講師陣をお招きして企画しました。プログラムの最後には講師の方々とディスカッションする時間も用意しております。多数の参加をお待ちしております。

日時：2016年3月11日(金) 午前9時50分～午後4時50分

場所：東京電業会館 地下ホール 東京都港区元赤坂1-7-8 TEL 03(3403)5181(代)

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます

シニア制度対象会員 11,880円(60歳以上の正会員) 会員外 32,400円

受講料には消費税・テキスト代を含みます

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください(定員80名)

送金方法：銀行振込(三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。

振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。開催日が近づきましたら開催のご案内を発送いたします。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第224回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03(3401)2957 FAX 03(3401)4143 E-mail: [srij@srij.or.jp](mailto:srij@srij.or.jp))

9:50～9:55 開会のあいさつ

配合技術研究分科会主査 鹿久保 隆志

【座長】三新化学工業(株) 立島 達夫

9:55～10:55 チタネート、アルミネート系カップリング剤および高分子系分散剤

味の素ファインテクノ(株) 甲嶋 裕二 氏

【座長】(株)ブリヂストン 鈴木 英寿

11:00～12:00 粒子共存重合法による高分子表面機能化シリカフィラー

東北大学 有田 稔彦 氏

ゴム用新規補強材として粒子共存重合法による機能化シリカを紹介差し上げる。

【座長】鬼怒川ゴム工業(株) 宇都木 宏之

12:50～13:50 老化防止剤の配合と機能 (一財)化学物資評価研究機構 仲山 和海 氏

【座長】(株)明治ゴム化成 榑原 正明

13:55～14:55 過酸化合物架橋・共架橋の紹介

化薬アクゾ(株) 青木 憲治 氏

【座長】元・横浜ゴム(株) 石川 泰弘

15:00～16:00 ゴムの加工と加工助剤

川口化学工業(株) 大貫 毅 氏

ゴムとフィラーの界面に関わる加工助剤の応用方法について紹介します。

16:05～16:45 講師による質疑応答

【司会】大内新興化学工業(株) 小松 智幸

16:45～16:50 閉会のあいさつ

配合技術研究分科会副主査 小松 智幸

※プログラムは一部変更になる可能性がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。